

# 平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 9月21日 作成

		担当課	福祉グループ					
事務事業名		ふくしま・いきいき健康推進プロジェクト事業費			施策コード	12345		
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的根拠等	法令	条例	その他
	中項目	健康づくりの推進			法的受託事業			
	小項目	保健予防				実施方法	直営	委託
	財務名称	ふくしま・いきいき健康推進プロジェクト事業費			直接補助			
事業概要	検診率が向上することで、早期発見、早期治療を図ることが可能となり、重度化を未然に予防し、医療費の抑制を図られる。また、日常の食生活の改善を図ることで、がん予防を推進する。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	30歳以上の女性を対象としている。  (2)意図（対象をどのような状態にしたいのか） (1)がん検診率の向上を図る。 (2)早期発見、早期治療を図る。 (3)自分の健康は、自分で守るという意識の向上を図る。			(1)がん検診の実施 (2)広報やチラシなどによる意識啓発				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	2	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	町関与の根拠追加事由		1点	
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町民の健康寿命の増進を図る上で、必要不可欠である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
		(2)社会情勢や町民ニーズの変化等	計	1	点			
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）				
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		健康に関する関心が深まることにより、自分の健康は自分で守るという意識が図られる。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	追加事由	1点					
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	1	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	実施方法や受診箇所の拡大などにより有効である。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定		計	1	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	実施回数	回	3	4		
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用人数	人	25	30		
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	実施回数を増やすことにより成果があった。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	1	点																																																																																																																												
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																										
	事業費	千円	35	52	119			低下している	1点																																																																																																																										
	国・道費	千円	20	30		区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																										
	地方債	千円	10	15		助成金		上昇している	-1点																																																																																																																										
	その他	千円	3	4		補助金		説明	1人当たり年間助成額を引き下げ																																																																																																																										
一般財源	千円	2	3	119																																																																																																																															
項目別点数による評価	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																											
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	助成事業のため難しい面はある。																																																																																																																												
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																													
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																													
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																														
	A		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>1</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>2</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	1	3 達成度	1	4 効果性	2	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>							0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低
	項目	点数																																																																																																																																	
	1 必要性	3																																																																																																																																	
	2 有効性	1																																																																																																																																	
	3 達成度	1																																																																																																																																	
	4 効果性	2																																																																																																																																	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																									
							A			6																																																																																																																									
										5																																																																																																																									
									4																																																																																																																										
									3																																																																																																																										
									2																																																																																																																										
									1																																																																																																																										
						B			0																																																																																																																										
									-1																																																																																																																										
									-2																																																																																																																										
									低																																																																																																																										
担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																	
A		A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																	
		現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続																																																																																																																													
B		B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																	
		事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																													
		事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善																																																																																																																													
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																													
C		C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																	
		制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																													
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																													
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他																																																																																																																													
D		D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																	
		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																									
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																								
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。				今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																													
		かなりの効果があり、現状のままの継続で問題ないと思える。				実施場所を増やし、更に受診可能となるようにする。																																																																																																																													
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
			D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明																																																																																																																																		
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
			D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明																																																																																																																																		